

「Shoryo 夢 Project」に向けて  
敦賀市立松陵中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	7回のべ9日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	9人
授業ボランティア(含:低ボラ)	
登下校支援ボランティア	0人
その他( )	
	0人

(2) 特色ある活動

テーマ「基本的な生活習慣の確立」  
～おはよう・おかえり運動～

具体的活動内容

「おはようございます」「いってきます」「おかえり」などの挨拶は、基本的な生活習慣の中でも、特に大切なものである。本校では、挨拶運動を生徒会が中心となって「Let's move 松陵」として、学校生活や地域社会の中で行うことによって、協調性や主体性のある子どもの育成をめざしている。

また、挨拶を日常の家庭生活の中から見直していくために、PTAや地域へも呼びかけを行い活動を展開した。



生徒会では

昨年度「Let's move 松陵」というスローガンをづくり、朝の挨拶運動を行っている。

生徒会本部役員(執行部)や各委員長などを中心に、朝の登校時間(7時40分から8時ごろ)に行っている。時季により、生徒会役員だけでなく、部活動や学級などからボランティアを募り、「Let's move 松陵」として、挨拶運動に取り組んでいる。

PTAでは

以前から取り組んでいる「おはようさん運動」を、生徒会や中学校校区の小学校とも連携を図った。福井県では、第3日曜日を「家庭の日」とし、その翌日を「放課後活動定休日」としているため、この日を中学校校区の「挨拶運動強化日」とした。



さらに、「おかえり運動」として、夏季休業に入る前に下校を見守ることを中心に実施した。「おかえり運動」には、父親の参加を募り、実施した。

地域への啓蒙を図るために、ちらしを作成し、配布した。

成果と課題

「挨拶運動」はどここの学校や地域でも取り組んでいることである。しかし、その取組に工夫をすることで、PTAや地域を巻き込むことが可能である。生徒会の活動を軸にして、PTAや地域が支えるという活動を合同で行うことの意義は大きい。その実践の積み重ねによって、協調性や主体性のある子どもの育成に寄与すると考えられる。合同活動を行うことで、生徒の参加意欲も高まり、PTAや地域の人からの挨拶にも応えられる生徒が少しずつではあるが増えている。さらに、父親に参加してもらい「おかえり運動」を実施したことは、効果があったと考えられる。

しかし、今後は「挨拶運動」を学校周辺だけでなく、家庭教育の中や地域の中に根ざしていく必要があり、さらなる家庭・地域との連携を図っていきたい。